

2019 年度 アジア研修交流プログラム

本年度から、ミャンマー連邦共和国の研修生をお招きして、7月29日（月）から3週間の「アジア研修交流プログラム」を実施いたします。

今回来日する研修生、ナン・ディさんは、ミャンマーのエデン障がい児センターで、長く障がい児の支援のために働いてきました。今回の研修では、日本の障害者福祉制度を学んでいただくと共に、複数の障がい者施設を見学して頂き、自立支援のための様々な福祉サービスの取り組みについて研鑽を積んでいただきます。

このプログラムには、当法人の障がい者施設以外にも、6つの外部施設や支援学校にご協力をお願いしております。

当法人では、このような「アジア研修交流事業」を1980年から始めており、現在までに13の国と地域から延べ82名の研修生を招待し、社会に送りだしてきました。研修生の多くは母国に戻り、それぞれが障がい者支援などの福祉分野で活躍されております。

この働きは、皆さまから毎年頂いております寄附金・献金ですべて支えられております。皆さまの温かいご支援を心より感謝申し上げます。

今回の研修に参加される方のご紹介

ナン・ディ（Daw Ngun Di）

エデン障がい児センター職員（女性）

ミャンマー連邦共和国